

中央青学連にゆ〜す

2002年9月3日 NO. 2

発行：明るい革新日本をめざす中央青年学生連絡会議(中央青学連)事務局
(連絡先：TEL03-3468-5301 FAX03-3468-5306)

残暑厳しい折ですが、いかがお過ごしですか。
中央青学連は、お盆明けの8月21日(水)に2002年度第三回幹事会を開催しました。幹事会で出された各地の様子や決まった行動をお知らせします。

「9・11」をテロも戦争もない平和な世界をつくる決意をひろげる日に！

昨年世界に大きな衝撃をあたえたテロ事件から一年がたとうとしています。アメリカはテロへの報復として、アフガンへの軍事攻撃をおこない無実の犠牲者をさらに生みだしました。そのうえ、ブッシュ大統領は、「2002年は戦争の年になる」と戦争拡大を公言し、イラクへの先制攻撃の姿勢を強行に示しています。

アメリカのこうした横暴なやり方は、国際ルールをふみじるものとして、同盟国であるヨーロッパ諸国をはじめ、各国から批判の声があが

地方の青学連、共闘団体もがんばります！

◎神奈川青学連…9月14日(土)におこなわれる世界大会報告会&パレードがおこなわれ、青学連としても積極的に参加します。

◎大阪青学連…9月16日(月)には、アメリカのイラク攻撃に反対し、有事法制の廃案をもとめる宣伝行動をおこなうことにしています。

◎京都青学連…9月11日(水)には、テロの犠牲者追悼、イラク攻撃反対、有事法制許さないキャンドルパレードを民青同盟主催、青学連後援でおこないます。

◎東京…平和と音楽のつどい実行委員会と、個人がよびかける「Peace Walk in 渋谷」を9月11日(水)におこないます。

っています。しかし日本政府は、こうしたアメリカの戦略を支持し、秋の臨時国会では有事法制を成立させ、アメリカの戦争に全面的に協力しようとしています。

幹事会では、こうした情勢のなか「9・11」をテロも戦争もない平和な世界をつくる決意をひろげる日にしようとしてよびかけ、中央青学連としてアメリカ大使館、外務省要請を行なうことを決めました。

外務省への申し入れ項目

- ◎アメリカ政府にアフガニスタン、イラクなどへの軍事攻撃の中止を強くもとめること
- ◎テロ根絶のために、国連を中心として国際法と理性にもとづき世界が団結して行動できるように日本政府として努力すること
- ◎唯一の被爆国の政府としてアメリカの核兵器使用には絶対に反対し、アメリカをはじめ世界に核兵器廃絶をもとめる先頭にたつこと
- ◎有事法案でアメリカの戦争に協力するのではなく、憲法九条の立場にたった外交努力で、アジアと世界の平和に貢献すること

この夏、各地で平和のとirikumiが多彩におこなわれました。9月にも、福岡、高知、長野などで平和友好祭が予定されています。8月におこなわれた徳島のピースアクション2002と山形、北海道での平和友好祭のようすを紹介します。

歌や朗読に思いをこめ、平和への願いを発信ー「ピースアクション2002 in 徳島」に600人が参加

8月18日(日)、「ピースアクション2002 in 徳島」がおこなわれ、約600人が参加しました。実行委員会は、県労連青年部、民青同盟県委員会、健生病院青年部、劇団阿波ッ子、夢叶え隊などの青年で結成され、準備のようすは「徳島新聞」で大きく特集されました。

戦争のときに禁止されていた沖縄の盆踊り「エイサー」などを披露する和太鼓、ダンス、コンサートにつづき、朗読劇「この子たちの夏」では、広島、長崎で被爆した人たちの日記、詩、短歌などを実行委員の高校生、社会人らが朗読。練習のときは、涙があふれて言葉につまったという台本をしっかりと読み、平和への願いを訴えました。

「戦争体験しっかり学びたい」ー山形・平和友好祭に55人が参加

第41回山形県青年学生平和友好祭が、8月10、11日(土、日)に開催され、55人の青年が参加しました。今年のテーマは「ストップ有事法制 テロも戦争も許さない 憲法九条をひろげ、非核・平和の世界へ」。

各団体のとirikumiから

- ◎国労連青年協…長崎での「平和のつどい」に105人が参加。被爆者の話を聞いたり、参加者同士の交流をおこない「またぜひ参加させてください」など好評。
- ◎農民連青年部…10月に政府がしめすコメ政策見直しのための中間とりまとめにたいして、「政策提言」「対話と交渉」を青年が先頭にたつとりくもうと相談中。
- ◎全学連…広島でおこなった全国学生平和セミナーには、240人が集まり成功した。今は、9月末の自治会セミナーと中央委員会の準備をしている。
- ◎全商連青年協…徳島の青年部が阿波踊りに参加、三重の青年部が他団体と一緒にピースライブを成功させるなど、地域に根ざした活動で奮闘。現在、9月の業者青年交流会の準備中。
- ◎民青同盟…9月8日～9月16日を「アメリカのイラク攻撃反対、STOP有事法制全国いっせい行動」として、全国に運動をよびかけ、福島、岡山、福岡、熊本など各地で行動が予定されている。

初日は、戦争体験を引き継ごうと、『人間の良心』の著書、花島康繁さんが講演。反戦平和を訴えつづけた元憲兵の生涯を学びました。

次の日は、「有事法制と安保条約のルーツ」「みんなでピースアート」「カヌー体験」など七つの分科会に分かれての学習です。参加した青年は、「もっと体験を学び、戦争の怖さをまわりにひろげたい」「こういう運動している青年がいると知って感動した」などの感想を寄せてくれました。

「今度はぼくらが平和をつくる」ー北海道で3年ぶりに開催！

8月25日(日)、北海道では3年ぶりとなる平和友好祭が開催され、30人の青年が参加しました。

午前中は、「有事法制」「基地問題」「アフガニスタンについて」をテーマに、グループディスカッション。『道内のあちこちに戦闘機があり、いつ戦争が起きてもおかしくない』と聞いて怖くなった。自分の目で確かめていきたい」など感想や決意を交流しあいました。

午後には、それぞれのグループが発表する「ワークショップ」。寸劇で世界情勢を演じたり、模造紙いっぱいのトマホークにバツ印をつける絵など、平和への願いをそれぞれに表現。最後に、実行委員長が「今度はみなさんも、平和な社会と次の平和友好祭をつくる番です」と訴え幕を閉じました。



この夏
平和が
熱い！